



内なる国際化の視点から ー 外国につながる人々が安心して使える保健医療サービス ー保健医療従事者へのNGOによる支援活動と 病院での医療通訳設置ー

2018年11月16日(金) 午後5時 明治学院大学白金校舎



外国につながる人々が、地域の中で保健医療サービスを利用する時には、言葉や文化の違いなどの問題によってサービスが利用しにくい人もいます。医療従事者や病院事務担当者、ソーシャルワーカーなどのサービスを提供する現場の人たちも、外国につながる人々への診療にあたり、様々な課題を抱えています。通訳者の派遣や翻訳アプリの利用による変化もあります。複雑な治療が必要な人や、退院後の生活に手助けが必要な人もいます。地域で暮らす外国につながる人々が、必要な保健医療サービスに安心してアクセスできて、質の高いサービスを受けることができるためには、どのような対応が望ましいのでしょうか。シンポジウムでは、早くから地域で画期的な取り組みを実践してきた専門家から、ご講演頂き、参加者とともに考えます。

【講演と講演者】

1. 「日本に住む外国人の健康支援活動

～全ての人々が安心して保健医療サービスを受けられるために～

認定NPO法人シェア＝国際保健協力市民の会 在日外国人支援事業担当

看護師、保健師 山本裕子氏

NPO法人シェアは、日本に住む外国人の健康支援を25年以上続けてきました。活動の1つ「外国人医療電話相談」では、外国人だけでなく、保健医療従事者やソーシャルワーカーからの相談にも対応しています。この事業担当者である山本裕子氏から、活動の紹介と、ご自身の10年間の経験に基づき、今起きている問題や、今後、必要なことを伺います。

2. 「公立病院における医療通訳者設置の経験」

公立甲賀病院前顧問 医師 井田 健氏 京都新聞大賞福祉賞 他を受賞

滋賀県の基幹病院である公立甲賀病院は、外国人が集住する甲賀市にあり、早くから医療通訳者とその業務を支援する医療コーディネーターを設置をしました。その設置に大きく関わった医師の井田 健氏から、設置の経緯や設置の前と後での違い、病院での医療通訳のあり方を伺います。

開催日時：2018年11月16日（金）午後5時～7時（事前申込み不要）

会場：明治学院大学白金校舎 本館3階1358教室（最寄駅：白金高輪・白銀台・高輪台）

問い合わせ先：明治学院大学社会学部附属研究所調査・研究部 阿部

TEL：03-5421-5204 メールアドレス：issw@soc.meijigakuin.ac.jp